

平成 23 年(2011 年)9 月 15 日発行

淡海エコフオスター通信

~美しいまちづくりを目指して~

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

びわ湖の水草を除去しました

8 月 4 日(木)に琵琶湖環境部で大津市内湖畔の水草除去を行いました。

水草は、南湖で 2000 年頃には面積の 50%で繁茂し、現在は全面に分布しています。異常繁殖の原因は、水位の低下や透明度の上昇、湖底の泥質化など、複合的であると考えられています。

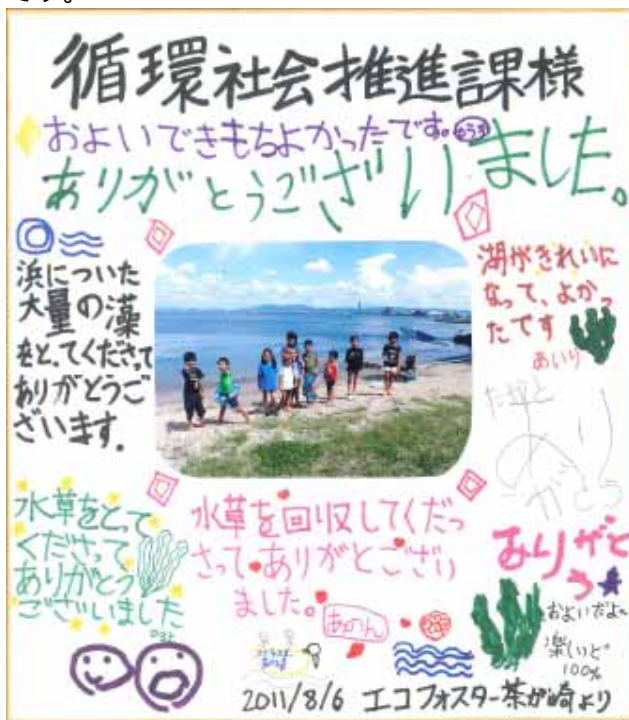
この水草が切れ、湖岸に押し寄せるとたちまちに腐り、悪臭を放ちます。

「エコフオスター茶が崎」から水草処理の相談を受けていた当課では、この日に琵琶湖環境部琵琶湖政策課が浜大津一帯の水草除去を行うのに併せて、茶が崎の水草を処理することとしました。

自治会副会長さんたちと当課職員 8 名が 2 トラック 2 台分の水草を積み込みましたが、なかなか体力のいる作業で、翌日は筋肉痛を訴える職員もいました。

しかし、その後、うれしいお礼が届きました。

お母さんと一緒に小学生が当課を訪れ、エコフオスター茶が崎代表のお礼状と寄せ書き色紙を頂戴しました。思いがけないお礼に職員一同感激です。



(琵琶湖環境部循環社会推進課)

エコフオスター紹介 湖東管内

長野クリーンクラブ

団体名 長野クリーンクラブ

活動場所 主要地方道愛知川彦根線(国道 8 号から西へ 700m まで)

長野クリーンクラブは、県道・愛知川彦根線の愛荘町・長野地区で清掃活動されている住民ボランティア団体です。

団体を結成されるきっかけとなったのは、県道沿い遊休地ごみ捨て場を解消したいとの思いからだそうです。県道が整備される以前は信号付近の道路が狭く、その付近の遊休地の草むらが格好のごみ捨て場となっていたそうです。それを見かねた道路沿いの水田の地権者の皆様が集まり、今から 7 年前に清掃活動団体を結成されました。

現在構成人数は、18 人(40 歳代後半~70 歳)であり、月一度の清掃日には、毎回 5 人~10 人が参加されています。



活動当初はすごいごみの量(大型のプラスチック箱、十数箱)で、なかには、紙おむつなどでもないごみ等もあったそうですが、清掃活動を続けた結果、現在では大型のプラスチック箱 1 箱にも満たない量まで減少したそうです。ごみの種類は、ペットボトル・空き瓶・空き缶・タバコの吸い殻の他、弁当殻・雑誌・金属片もあるようです。

清掃活動が今まで続いた秘訣を代表の方に聞いたところ、次のように言われていました。「年度当初に 1 年間の活動計画を立てますが、あくまで自由参加を原則とし、自分自身が清掃活動に参加出来る場合には楽しく参加する。決して無理せず、和気あいあいとやることです。」と笑顔で語っていただきました。

また、清掃作業の服装を統一するため、4、5 年かけて全員統一の帽子やクリーム色のクラブ名入り刺繍ポロシャツ・防寒ジャンパー・長靴などを購入し、仲良く活動されています。

このような日頃の清掃活動が長野地区の住民に

受け入れられ、現在では地元子供会や老人会、地域で活動している工場にも拡がりを見せ、「裾野が益々大きくなっているのを感じる」と力強く語っておられる様子が非常に印象的であり、感動しました。



(湖東環境・総合事務所環境課)

エコフオスター紹介 大津管内

柳川を愛する会

団体名 柳川を愛する会
活動場所 県道下鴨大津線(柳が崎信号から県道伊香立浜大津線)、一級河川柳川
「柳川を愛する会」会長の中原真二さんにお話を伺いました。

会の結成は昭和59年で、当時、地域には、婦人会、青年会があり、壮年会もつくりと中原さんが提唱し、会の前身となったそうです。何か社会に役立つことをしたいという崇高な志と遊びも兼ねての提唱だったそうです。

当時は下水道も普及しておらず、川が汚れた状況であったため、まずは川掃除から始められました。昭和62年9月には大津市の河川愛護団体に登録しておられます。



淡海エコフオスターは平成17年6月24日に合意書を取り交わしておられますが、以前より神宮道(昭和15年に建立された近江神宮の参道)を掃

除しておられ、観光バスや乗用車の通行量が多く、たばこの吸い殻、食品包装のプラスチックごみ、空き缶が相当捨てられるとのこと。

また、一級河川柳川の清掃も実施しておられますが、この川は、上流部が、コンクリートの3面張となっており、短い河川であるため、少し激しい雨が降ると、一気に水が流れ、下流部では、上流で捨てられた包装紙やカップめんの容器等が流れ込むそうです。会では、年に5回の草刈りと併せ、河川の清掃を実施しておられます。



会の構成員は50名で、年齢は65歳から75歳くらいの方々が中心となっております。

実施時期は、5月～9月の毎月と、2月で、最近では160戸ある自治会に呼びかけ、一緒に活動しておられます。



柳川を愛する会は、エコフオスターの他にも「身近な水環境の全国一斉調査」や「琵琶湖・淀川水系水質調査」にも参加しておられ、志賀小学校では、昔の柳川の話等の出前授業も行っておられ、事業実施後は「瓦版やながわ」を発行するなど広報活動も行っておられます。

環境全般に関心を持ち、地域と密着した活動を展開しておられる「柳川を愛する会」の皆様のみすますのご健康とご活躍をお祈りいたします。

(琵琶湖環境部循環社会推進課)

発行

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

電話 077-528-3471 FAX 077-528-4845

eメール df00@pref.shiga.lg.jp

平成23年4月以降の合意団体

- ・今津西小学校（高島市）
国道303号（高島市今津町保坂地先）
- ・株式会社 山協（草津市）
県道大津守山近江八幡線（草津市木川町地先）
- ・昭和電工株式会社彦根事業所（彦根市）
県道神郷彦根線ほか周辺道路（彦根市南河瀬地先）
- ・有限会社 フットワーク（草津市）
県道大津能登川長浜線（草津市岡本町、青地町地先）
- ・有限会社 マツヤマ（東近江市）
県道五個荘八日市線（東近江市妙法寺町地先）
- ・ヤンマー(株)永原工場（長浜市）
八田部川、県道303号線（長浜市西浅井町庄地先）